

- 諏訪市の山林は東山と西山に分かれており、特に東山は整備が遅れている状態
- 里山付近では急傾斜地が多く土砂災害につながる恐れがある森林
- 東山の林業経営に適さない森林の整備を実施
- 東山の林業経営に適した森林の整備に向けた取組

□ 事業内容

1. 四賀細久保・普門寺地区の森林整備を計画・実施

- ・森林調査・測量、間伐を主体とした除伐等を組合せて施業を実施

【事業費】11,638千円（うち譲与税11,638千円）

【実績】対象面積 6.23ha

2. 四賀神戸地区の意向調査を実施

【対象者数】152名

【対象面積】約74ha

□ 取組の背景

- 1・森林整備が遅れている東山の四賀地区の里山を中心に、景観や支障木等を考慮した林業経営に適さない森林の計画及び整備を進めている
- 2・森林経営に適した森林の森林所有者からの同意取得、所有情報を提供することにより、地元山林組合が窓口となって、林業事業体と契約を結び、森林整備につなげる

□ 工夫・留意した点

- 1・間伐を主体とし、除伐と集積を組合せた基本的な整備を導入
 - ・整備地が住居付近の里山であるため、特に集積材等の安全と景観に配慮した
- 2・森林所有者が多数のため、地元山林組合が窓口を行い、窓口を一本化することで手続きの手間を少なくした

□ 取組の効果

- 1・土砂災害の防止効果が期待でき景観が向上した
 - ・整備後の状況を見た地権者から高評価を受けた
- 2・作業道開設が実施されたことにより、これからの森林管理や森林整備に大きな効果が期待される



◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：23,741千円		②私有林人工林面積（※1）：3,011ha	
③林野率（※1）：69.2%	④人口（※2）：48,729人	⑤林業就業者数（※2）：22人	

（1．細久保・普門寺地区整備前（左）整備後（中央））（2．神戸地区地権者説明会）※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より